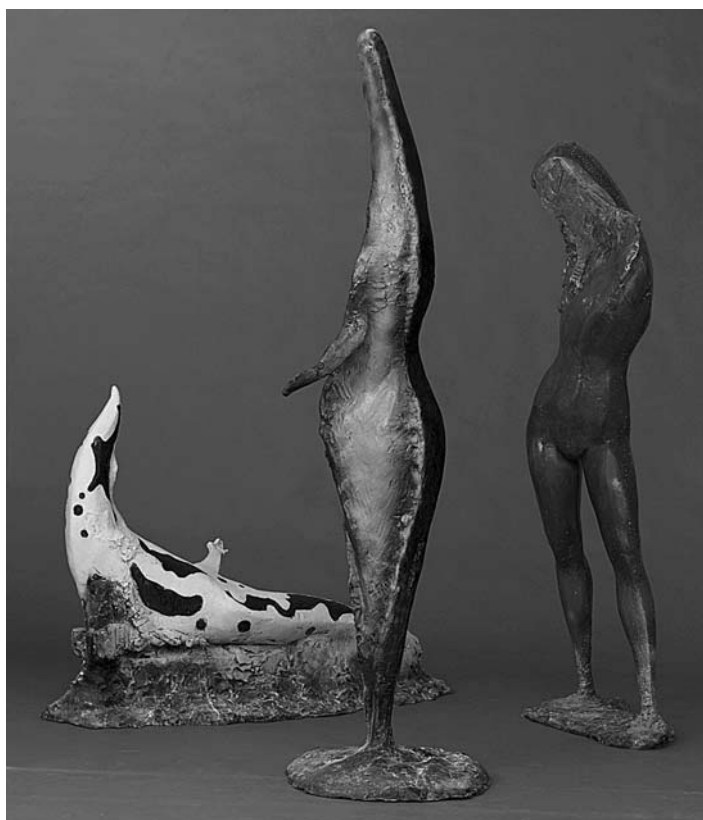


《Meeting》
インスピレーションによるモチーフのメタモルフォーゼの追究

《Meeting》
The metamorphosis of sea slugs: A study in inspiration

川畑 翔
Syo KAWABATA

崇城大学大学院芸術研究科美術専攻
Division of Fine Art, Graduate School of Art, Sojo University



《Meeting》 FRP 樹脂

高さ112 cm×幅154 cm×奥行き54 cm

高さ220 cm×幅62 cm×奥行き69 cm

高さ196 cm×幅83 cm×奥行き40 cm

私の制作論は、これまでに彫刻を学んできた私が、「インスピレーションによるモチーフのメタモルフォーゼの追究」について述べたものである。これまでに私が制作してきた歪な形態の作品群は、私がモチーフを観察した際に得たインスピレーションを基に制作したものであった。それらは、人に違和感を覚えさせるが、リアリティがあり、まるで実在しているかのような印象を与え、例えるならば夢の中に出てくる異形の生物のようなものであった。制作論では、私が、なぜそのような作品を制作するようになり、修了研究作品にまで至ったのかをクロノロジー的に明らかにした後、実際の修了作品の制作工程について述べた。各章の展開は以下のとおりである。

まず、「はじめに」では、私の制作スタイルや傾向を、幼少期にまで遡って見直し、それが現在にまで続いていることを示した。

第1章「これまでに制作したインスピレーションによる作品」では、私がこれまでインスピレーションによって制作した過去の作品の制作意図を、1節「初めてインスピレーションで制作した作品」、2節「人体をモチーフにした作品」、3節「複数のモチーフを併せて制作した作品」に分けて考察し、修了研究作品に至った経緯を示した。

次いで、第2章「修了研究作品の題材設定」では、修了研究作品のモチーフであるウミウシについて述べた。1節の「ウミウシとは」では、ウミウシが巻貝の仲間であることや、ほとんどの種類が数ミリほどしかない小さい生物であること、また、その体色は海の宝石とも呼ばれるほど鮮やかであるといったウミウシの特徴を詳しく述べた。そして、なぜ私がウミウシからインスピレーションを受けて、修了研究作品《Meeting》を制作しようとしたのかを、2節の「題材設定の理由」で述べた。

続いて、第3章「制作過程」では、修了研究作品である《Meeting》の具体的な制作工程を、1節で「構想」、2節で「水粘土による原型制作」、3節で「石膏雌型とFRPによる成形」、4節で「着色」の順で述べた。特に着色については、三体がそれぞれ異なるウミウシをモチーフにしているため、個々について具体的に述べた。

そして最後に「おわりに」において、修了研究作品を制作することで見出した今後の課題と展望について述べた。